

# これが 公民館報

## 第292号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

### 四賀の世帯数・人口

世帯数	1,969世帯
人口	4,976人
男	2,411人
女	2,565人

(平成 26年 5月 1日現在)

## 地域の新たな仕組みづくりや、 将来を見据えた人材育成等に取り組み 地域づくりセンター開設



四賀地区地域づくり  
センター長(四賀支所長)  
川窪 博

四月一日から前郷津支所長の後を引き継いで四賀地区地域づくりセンター長(四賀支所長)としてお世話になることになりました。中川出身の川窪 博ですが、どうぞよろしくお願いたします。

松本市は今年度から、市内三五地区に地域づくりセンターを開設しました。四賀支所もその一つであります。

地域づくりとは、「安心して、いきいき暮らせる住みよい地域社会を構築するため、住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組み」を指します。

なぜ今、地域づくりが必要かですが、超少子高齢型人口減少社会の進展などによる、社会経済状況の変化を背景に、要援護者の見守りや災害

時の助け合いなど、増大し複雑化する地域課題や人間関係の希薄化、地域活動への無関心など、地域は厳しい状況にあります。そうした中で、地域の新たな仕組みづくりや、将来を見据えた人材育成等の取り組みなどの必要性がでてきます。

松本市の地域づくりは、将来の都市像「健康寿命延伸都市」の創造に向けた土台づくりです。住民自治や地域連帯といった地域力向上のため、お互い助け合い、学び合い、安心して暮らせる持続可能な地区を主役である市民と行政との協働で創造します。

さて、四賀地区の地域づくりには、公民館の果たす役割が、今後ますます重要となりますが、今まで以上に皆様の主体的なご参加や地域づくりに対するご意見や事業推進のご協力をお願いするものでございます。

微力ではありますが、四賀地区の地域づくりのために全力を尽くす所存でありますので、皆様方のご指導、ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



春の四賀の史跡と春を満喫  
ウォーキング大会

四月二十日に福祉ひろばと公民館共催の「春のウォーキング」が行われ、二十四名が参加しました。

朝十時に四賀支所に集合した参加者は準備体操で体をほぐした後、揃って元気に出発しました。

今回のコースは、殿村遺跡から広田寺を経て、善光寺街道の常夜燈を見学、さらに虚空蔵山山麓の岩井堂観音に参拝し、最後は「ほそぼら」で手打ちのお蕎麦を食べるというもの。赤ちゃん連れのお母さんや小学校低学年の児童からシルバー世代まで、様々な世代の人が参加しましたが、それぞれのペースで二時間の行程を無事、歩き切りました。

当日は花曇りで少し寒さも感じましたが、満開のソメイヨシノや水仙の花など道沿いの風景を楽しみながら、里山の春を満喫しました。



調査では、土地に入らせられていた場合があるかと思われませんが、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

この調査表を基に、今年四月から調査協力員さんにご案内をいただき、文化財課と四賀公民館職員が現地調査を実施しています。

調査表を公民館へ提出していただきました。

四賀地区では昨年度、各町会から歴史文化調査協力員を選任していただき、説明会を実施し仏像や絵図など「地域に残していきたいもの」の掘り起こししていただき、調査表を公民館へ提出していただきました。

市では文化庁の「歴史文化基本構想」に基づく取り組みとして、各地域にある有形、無形の文化財調査を実施することになりました。

文化財調査にご協力ください

平成26年度 町会長・町内公民館長・体育部長名簿

Table with columns: 町会名, 町会長, 備考, 公民館長, 備考, 体育部長, 備考. Lists names and roles for various town associations.

四賀公民館委員

- 公民館事業の企画立案運営をしていただく四賀公民館委員の皆さんを紹介いたします。
◆運営委員会
○大澤好市 ○岩下謙一
佐々木清夫 望月 剛
中嶋 博 竹内哲夫
瀧澤正行 横内淳一
山岸勝子

職員紹介

- 四賀地区地域づくりセンター
センター長 川窪 博
課長補佐 常田兼弘
主任 藤森一孝
嘱託 宮坂真裕美
嘱託 金子美津代
嘱託 藤原育未
臨時職員 海野寿子
四賀部地域包括支援センター
主査 加藤博子
主査 丸山花代子
主任 一志 怜
健康づくり課
北部保健センター(四賀担当)
保健師 丸山 悠

農政課

- 生産振興担当 (四賀農林担当)
係長 丸山春壽
係長 青木美伸
主任 佐藤和彦
嘱託 北沢祐磨
維持課管理担当 (地籍調査)
課長補佐 堀内 勉
主事 高山直樹
嘱託 中田将之
四賀公民館
館長 百瀬光男
公益館事 小宮山秀樹
嘱託 中澤恵利子



福寿草倶楽部発表交流会

二月に予定されていた福寿草倶楽部の発表交流会「大樂い」が大雪の影響で二カ月延期され、三月十六日に開催されました。今回で十二回となります。ステージ発表の四賀コンサート合唱団が歌声を披露した後、各生涯学習サークルの一年間の活動報告がありました。参加した皆さんは会食を楽しみながら聞き、拍手を送りました。どのサークルも新しい参加者を募集しています。後半は恒例のお楽しみ、会員による民話劇「狐が恩返ししたぞー」。昨年の生涯学習フェスティバルでの初演の後、岡田地区公民館でも披露されて好評の民話劇に、会場は喝采に包まれました。

湧き水

▼若葉から新緑に移ろう爽やかな季節。毎日のように街道をザックを背負い、手に地図を持った旅人が善光寺街道会田宿を行き交う姿が目立ってきました。会田宿町並み委員会は旧会田小学校で不要となった卒業記念の掲示板を利用して支所近くの街道沿いに街道周辺の旧跡を標した善光寺街道会田宿マップを今年度中に制作することを計画しています。皆さんも、このマップをご覧になり、往時の会田宿の歴史を知って興味を持って頂ければと考えております。
▼会田新町にあります「みはらし」をご存知でしょうか。前は「油や」の店名で食料品店を営んでいました。ご主人の山田順一さんは御歳九十五歳(大正八年生まれ)とてもお元気でエネルギーに活動されております。山田さんは先代が昔立峠で茶屋を営んでいたこともあり、会田宿の歴史や動向にとっても興味をお持ちです。現在、店舗部分に手を入れ、住民の方々、街道を歩く人のため、場所を開放提供しています。休憩でも一杯でも利用してみませんか？